

広報 No.261

KOHO OGIMI 2016年12月1日

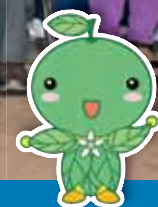


おおぎみ

大宜味



繋がる思い出が多く、の感情を生み
次世代への架け橋を作る



日時: 10月28日
撮影場所: 大宜味村農村環境改善センター

第6回世界のウチナンチュ大会 大宜味村出身者歓迎交流会



10月27日から30日までの3日間に開催された「第6回世界のウチナンチュ大会」では、世界の国々から多くのウチナンチュが集まり、沖縄県を挙げて歓迎しました。大宜味村では、この大会に参加した本村出身者を歓迎するため、10月28日に「大宜味村出身者歓迎会」を村農村環境改善センターで開催し、国際親善交流を行いました。



▲村長からの記念品贈呈



▲ボリビア沖縄県人会から記念品贈呈

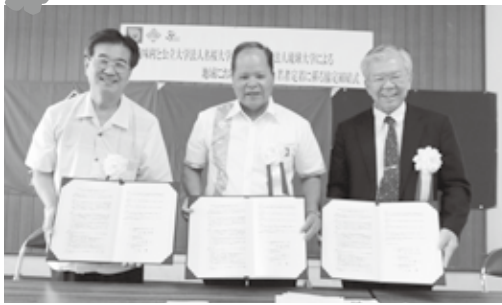


▲シークワサー音頭を世界へ拡散

同交流会では、ペルー（31名）、ブラジル（15名）、アルゼンチン（4名）、ボリビア（1名）、アメリカ（5名）、カナダ（1名）、計57名。そして、村民、親類・関係者147名の参加があり、思い出話や、初めて訪れる自分のルーツの地に感慨深げでした。始めに参加者で村歌斉唱を行い、記念品贈呈。その後、幕開けの「かぎやで風」や喜如嘉小学校獅子舞クラブによる「獅子舞」の他、村老人クラブ連合会、村婦人連合会の踊り、村青年団協議会のエイサーの優雅な舞い、三線の軽快な演奏に会場は盛り上がり、全員参加のカチャーシーで幕を閉じた交流会は、短い時間でしたが、村出身者との絆を再確認する機会となり、第7回大会での再会を誓い合いました。

参加者のトガワミナコさんは「初めて沖縄に帰って来た時は泣いてしまったが今年で6回目なので、少し慣れて嬉しさが大きい。両親の兄弟に会うことがとても楽しみだった。大宜味の踊りや迫力のある獅子舞で歓迎してくれて感動した。」と喜んでいました。

大宜味村の雇用創出・若者定着に向けて



11月2日、「大宜味村と公立大学法人名城大学及び国立大学法人琉球大学による地域における雇用創出・若者定着に係る協定書」締結式が村役場で行われました。

大学の責務となっている社会貢献に関して地元の地方公共団体や企業と連携し、地域課題の解決に積極的に取り組むことが求められています。また、人口減少下にあっては大学入学・卒業時における都市部への人口集中も課題になっており、その対応として地方大学等への進学、地元企業への就職や都市部の大学等から地方企業への就職を促進するため、地方公共団体と大学等との連携による雇用創出・若者定着に向けた取り組みが求められています。そこで、「新たな地域社会を創造する『未来叶い(ミライカナイ)』プロジェクト」事業(COC+事業)では、平成25年度から自治体と連携して地域課題の解決に取り組む各大学の支援として実施してきた「地(知)の拠点整備事業」を発展的に見直し、地域で活躍する人材の育成や大学を核とした地域産業の活性化、地方への人口集積等を推進することを目的とし、複数の大学が自治体や企業等とよりよい広い地域で協働し、若者の地元定着率の向上や地域における雇用創出を推進する取り組みを実施することとなりました。宮城功光村長は「村特産品などを活かす取組みや雇用創出に関する取組みなど、若者の知恵と創造力になる提案を受けながら、村が学生教育の拠点となることを期待している。」と話しました。

沖縄県内初となる地域の協力協定

11月1日、日本郵便株式会社の大宜味郵便局(局長 新城正)及び名護郵便局(局長 玉寄宗充)と大宜味村(村長 宮城功光)は、郵便局が持つネットワークを活用して、地域住民が安心して暮らせる地域社会づくりに資するため「地域における協力に関する協定」の調印式を行いました。内容として、①地域見守り活動(高齢者や子ども等の何らかの異変を発見した場合に指定された連絡先に情報提供を実施。)②道路損傷・不法投棄(道路の亀裂・陥没、土砂崩れ等の道路損傷や、不法投棄と思われる廃棄物を発見した場合に指定された連絡先に情報提供を実施。)③防犯関連(業務中に犯罪行為等を発見した場合に、指定された連絡先に情報提供を実施。)について業務中に支障のない範囲で協力することとなっています。上記内容の協力調定締結は、郵政民営化後としては沖縄県内初となります。



村長は「以前に比べて隣近所での声掛けが薄くなっているので、郵便局が状況の異変や住民への気配りをしていただけることで、村としても取り組みやすくなる。」と期待の言葉を述べました。

平成28年 秋の叙勲受章

11月7日、沖縄県知事公舎において、叙勲の伝達式があり、沖縄県知事から島袋義久氏(字塩屋、元大宜味村長)へ勲記・勲章の伝達がありました。毎年行われる春秋叙勲には、年齢制限、人目に付きにくい分野において真に功労のある方や多数の分野で幅広く活躍し功労のある方、国家又は公共に対し功労のある者として勲章を授与されている主な民間分野のものなどがあり、島袋義久氏は、公選歴3期12年、審議会歴10年、公務員歴41年、団体歴11年の長きにわたる功績が称えられ、「旭日双光章」(きよくじつそうこうしょう)を受章されました。県内の平成28年秋の叙勲受賞者は7名となります。



▲島袋義久氏(後列右から2番目)、
翁長雄志沖縄県知事(前列右から3番目)

審査の結果、一般会計、各特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に準拠して作成されており、関係帳簿及び証拠書類と照合し、決算審査基準並びに審査主眼に基づいて審査した結果、決算計数に誤りはなく、予算の執行はその目的に添って執行されており、それぞれの事務事業は厳しい財政状況の中にもかかわらず積極的な財政運営がなされ、予算執行の面でも効率的な執行の努力がなされて、おおむね所期の成果をおさめているものと認めた。

一般会計においては、平成10年度以来となる50億を越す決算額となった。主な要因としては小学校・中学校の建設費である。財政諸指数からみるとなんとか健全財政を維持しているところであり、財政構造の弾力性を判断する経常収支比率を見ると本村の財政構造は昨年度に比べ改善は見られるものの依然として硬直化の状態である。今後とも健全財政の維持に積極的な努力を重ね村勢の振興発展に努力されたい。

また、村税においては多額の不納欠損額と収入未済額、負担金、使用料の収入未済額、財産収入の多額の収入未済額、そして学校給食費の収入未済額があることは遺憾である。村税をはじめとする自主財源は、歳入の主たる源泉であり、滞納額については「債権」として認識し、積極的に滞納整理を進めることは善良な納税者の負託に応えるべき執行当局の責務である。

尚、当年度にあたっては、個別訪問や預金口座差押え等を行い、徴収に積極的に取り組みをして、昨年度に比べ税の収納率が上回ったことは評価する。

国民健康保険税において徴収率は前年度より2.1%伸びているものの、多額の不納欠損額と収入未済額があることは、誠に遺憾である。保険税の収入未済の増加は社会保障制度の根幹を揺るがしかねない問題であり、住民の税負担に対する公平性及び国民健康保険制度の安定的運営を期すために、滞納者に対する実態調査に基づき、文書及び電話での催告や個別訪問等取り組むことは勿論のこと、未申告者への啓発を徹底し、悪質な滞納者に対しては毅然たる態度で対応するなど、未収金の縮減に向けた努力をされるよう強く望む。

簡易水道事業特別会計においては、村民の日常生活に直結し、公衆衛生の向上と生活改善に欠くことのできないものであり、漏水管修繕等鋭意実施され、今後とも清浄で豊富低廉な生活用水の供給に努力して、万全を期されたい。

公共下水道事業特別会計は、地域住民の生活環境の改善を図るとともに、河川、海域等の公共用水域の水質を保全するため設置されたものである。将来的な健全財政の基盤づくりも見据えながら一層努力されたい。

地方は、依然として厳しい財政運営を余儀なくされている中において、財政需要は増大するばかりである。引き続き簡素で効率的な行政システムを確立するため、徹底した行財政改革を推進するとともに、歳出の見直しによる抑制と重点化を進めるべきである。歳入面ではふるさと納税で返礼品の開始と申込方法(クレジット決済等)の簡素化で多額の基金を積むことができたことは評価する。今後とも自主財源について確保策に取り組まれたい。限られた財源の中でこれまで以上の行財政運営が求められるが、村政に対する村民の信頼の構築を基本に、村長を筆頭に職員一丸となり村民サービスの向上に努め、「教育・歴史文化の輝く健康長寿村」の実現に向けて、引き続き取り組まれるよう強く望むものである。

予算の執行について

一般会計

ア、歳入の状況

歳入決算額は、当初予算額49億4116万円に補正予算額5億544万4千円と繰越事業費6億871万9千円を加えた予算現額は60億5,532万3千円で、調定額59億969万21円に対して収入済額は55億6,902万343円でその収納率は94.2%、対前年度比で4.4%高くなっている。

不納欠損額は164万6,743円で、前年度に対して4万7,209円(2.8%)の減となっている。

収入未済額の3億3,902万2,935円は対前年度比で1億5,344万2,539円(31.2%)の減となっている。

現在のところ、多額の収入未済額があることを厳しく認識し、将来へ向けて健全財政を維持できる体制づくりに万全を期されたい。

※歳入決算額の収納率の状況は第25表のとおりである。

イ、歳出の状況

歳出決算額は、当初予算額49億4,116万円に補正予算額5億544万4千円と繰越事業費6億871万9千円を加えた予算現額は60億5,532万3千円となり、支出済額は51億5,333万2,468円で、その執行率は85.1%で前年度に比べ1.9%高くなっている。

翌年度繰越額は4億9,357万5千円(国頭地区行政事務組合負担金〈特別分〉、結の浜安心安全な環境づくり整備事業等)となっている。

不用額は4億841万5,532円で、前年度に比べ1億7,911万3,030円(56.1%)高くなっている。不用額の中には、予算補正できたにも関わらず放置されているものが多く含まれている。

※歳出決算における執行率の状況は、第28表のとおりである。

平成27年度 不納欠損内訳表

(単位:円)

	村民税(個人)		村民税(法人)		固定資産税		軽自動車税		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
H22年度			1	50,000	233	1,445,300	12	53,200	246	1,548,500
H23年度										
H24年度	3	47,843							3	47,843
H25年度										
H26年度					16	50,400			16	50,400
合計	3	47,843	1	50,000	249	1,495,700	12	53,200	265	1,646,743

第1表 会計別歳入歳出決算額

(単位:円)

会計名	予算現額	決算額			翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
		収入済額	支出済額	差引残額		
一般	6,055,323,000	5,569,020,343	5,153,332,468	415,687,875	18,264,000	397,423,875
国保	744,290,000	696,517,988	665,735,757	30,782,231	0	30,782,231
簡水	141,707,000	142,339,715	137,826,012	4,513,703	0	4,513,703
下水	25,274,000	25,855,304	24,643,671	1,211,633	0	1,211,633
後期	34,973,000	35,056,494	34,583,522	472,972	0	472,972
合計	7,001,567,000	6,468,789,844	6,016,121,430	452,668,414	18,264,000	434,404,414

第25表 歳入決算額の収納率の状況

(単位:千円・%)

区分	平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	決算額	収納率	決算額	収納率	決算額	収納率
1款 村 税	697,397	96.8	682,364	96.6	686,602	96.3
2款 地方譲与税	24,712	100	23,619	100	24,843	100
3款 利子割交付金	224	100	269	100	342	100
4款 配当割交付金	450	100	400	100	240	100
5款 株式等譲渡所得割交付金	362	100	301	100	392	100
6款 地方消費税交付金	51,150	100	27,761	100	22,557	100
7款 自動車取得税交付金	4,306	100	2,259	100	5,255	100
8款 地方特例交付金	509	100	458	100	422	100
9款 地方交付税	1,141,215	100	1,123,924	100	1,145,534	100
10款 交通安全対策交付金	1,024	100	908	100	953	100
11款 分担金及び負担金	13,582	97.1	12,093	96.0	15,069	96.8
12款 使用料及び手数料	55,273	89.1	53,726	86.4	51,363	84.8
13款 国庫支出金	1,211,456	96.0	952,199	89.6	989,036	92.6
14款 県支出金	621,596	85.7	387,399	64.7	622,112	88.5
15款 財産収入	48,662	50.8	12,495	20.9	34,860	42.5
16款 寄附金	69,726	100	5,013	100	970	100
17款 繰入金	78,445	100	180,869	100	577,850	100
18款 繰越金	228,573	100	257,712	100	617,607	100
19款 諸収入	159,732	59.5	61,454	39.9	55,077	37.2
20款 村債	1,160,621	100	579,461	100	395,989	100
歳入合計	5,569,020	94.2	4,364,687	89.8	5,247,076	94.0

第28表 歳出決算額の執行率の状況

(単位:千円・%)

区分	平成27年度		平成26年度		平成25年度	
	決算額	執行率	決算額	執行率	決算額	執行率
1款 議会費	67,018	99.7	63,190	99.7	62,426	99.5
2款 総務費	569,138	79.3	489,804	92.3	494,247	97.3
3款 民生費	601,273	94.9	605,476	95.5	616,344	98.5
4款 衛生費	440,983	61.6	315,607	66.3	307,142	98.0
5款 労働費	0	0	1,747	99.9	321	19.3
6款 農林水産業費	286,985	88.9	262,796	69.8	153,756	55.7
7款 商工費	148,983	82.0	53,922	54.3	1,330,515	85.4
8款 土木費	250,866	84.0	276,604	88.6	258,411	70.1
9款 消防費	146,064	100	142,004	97.9	155,407	90.4
10款 教育費	2,003,323	98.8	1,292,192	99.3	295,422	95.4
11款 災害復旧費	204,087	83.7	200,653	47.0	130,862	91.8
12款 公債費	247,259	99.9	265,789	99.8	262,944	99.7
13款 諸支出金	187,348	100	166,324	100	921,562	100
14款 予備費	0	0	0	0	0	0
歳出合計	5,153,332	85.1	4,136,114	83.2	4,989,364	88.3

平成27年度 決算に基づく健全化判断比率について

平成27年度決算に基づき算定した地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第3条第1項の健全化判断比率について、同項の規定により、次のとおり公表する。

(単位:%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	—	—	5.5	—
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0	

備考:健全化判断比率のそれぞれの欄において「—」と表記されている場合は、赤字額がないこと、又は比率が算定されないことを表す。

算定方法

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

$$\text{実質公債費比率 (3ヵ年平均)} = \frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

平成27年度 決算に基づく資金不足比率について

平成27年度決算に基づき算定した地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第22条第2項の資金不足比率について、同条第1項の規定により、次のとおり公表する。

(単位:%)

会計区分	資金不足比率	経営健全化基準
大宜味村簡易水道事業特別会計	—	20.0
大宜味村公共下水道事業特別会計	—	
大宜味村工業用水道事業会計	—	

備考:各会計の資金不足比率の欄において、「—」が表記されている場合は、資金不足が発生していないことを表す。

算定方法

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額}}{\text{事業の規模}}$$

～あなたの心に寄り添います～（こころの健康相談会）

「こども」「家庭」「しごと」「くらし」「お金」「こころ」

あなたが悩んでいること、何でもご相談ください。

あなたがかかえる悩みを解決するため、専門家が相談にのりアドバイス致します。
ご家族・友人の方の悩み、何でもお気軽にご相談下さい。秘密厳守ですので、安心してご相談下さい。

日 時：平成28年度

12/20(火)、1/31(火)、2/22(水)、3/28(火)

※相談会は1日2名を予定しています。空きがある場合は当日予約も可能ですが、事前に申し込みされる事をお勧めします。

① 午前 10:00～10:45 ② 午前 11:00～11:45

（相談時間は30分～45分程度です）

場所：大宜味村役場第2会議室（旧法務局）

スタッフ：臨床心理士 國井 昭男

【お問い合わせ
申し込み先】

大宜味村役場 住民福祉課（保健師）

☎0980-44-3003（月曜日から金曜日）

メール：yoshimi@vill.ogimi.okinawa.jp（メールは24時間受付しております）

お知らせ
暮らしに役立つ
情報コーナー
いぎみ
インフォメーション

平成29年 成人式

期 日：平成29年1月4日（水）

受付（午後2時～）

式典（午後3時～）（終了後 記念撮影）

成人者激励交歓会（午後4時～5時）

場 所：大宜味村農村環境改善センター

成人に達した新しい門出の祝福と将来の幸福を村民全体で祝いたいと思います。新成人者、御父兄並びに多くの村民のご参加を宜しくお願いします。



△平成28年成人式より

平成29年 村民新春の集い

平成29年（2017年）酉年の新年を迎え、多くの村民が一同に集い、この一年間健康で明るく過ごせることを願うとともに、融和と親睦を図り、新しい年を祝うため「平成29年村民新春の集い」を開催します。多くの村民の皆様のご参加をお待ちしております。

期 日：平成29年1月5日（木）午後6時～午後7時30分

場 所：大宜味村農村環境改善センター

会 費：1,000円



※当日は無料バスでの送迎も予定しておりますので、詳しくは各公民館の掲示板をご覧ください。

【お問い合わせ先】 大宜味村役場 総務課 ☎0980-44-3001

県税・市町村税は貴重な財源です。

みなさん税金の納め忘れはありませんか？

NO! 滞納

県税・市町村税徴収強化月間
2016年11月1日～12月28日

昨年度(2015年度)の
県税・市町村税の納付率は

95%以上



県税・市町村税は納期内に納めましょう。納税に関するご質問・ご相談は大宜味村役場まで

沖縄県と県内41市町村は、税の公平・公正を確保するため、連携して全県一斉に徴収を強化します。催告しても納めない滞納者に対し、財産の差押など滞納処分を行います。

【お問い合わせ先】 大宜味村役場 財務課 ☎0980-44-3002

年末・年始のゴミ収集及び個人搬入について



○ゴミ収集業務について

年 末:平成28年12月30日(金曜日)まで収集業務を行います。

年 始:平成29年1月4日(水曜日)から収集業務を行います。

○個人搬入の受入について

施設名	やんばる環境センター	やんばる美化センター
受入ゴミ	燃えるゴミ	もやせないごみ、資源ごみ、危険ごみ、粗大ごみ
受付時間	午前9時から午後4時まで	午前9時から午後4時まで
年 末	平成28年12月28日(水)まで 平成28年12月29日(木)から	平成28年12月28日(水)まで 平成28年12月29日(木)から
定休日	平成29年1月3日(火)まで	平成29年1月3日(火)まで
年 始	平成29年1月4日(水)から	平成29年1月4日(水)から
備 考	※各施設、上記搬入ゴミ以外については、受入出来ませんのでご理解・御協力 よろしくをお願いします。	

【お問い合わせ先】 国頭地区行政 事務組合 衛生課(やんばる環境センター) ☎0980-41-3500
やんばる美化センター ☎0980-41-3400

大宜味村健康運動教室（健康測定&ジョイビート）

8月より、名桜大学学生の協力を得て、健康測定とジョイビート(3DCGコンテンツ)による軽運動をスタートしています!!

自分自身の身体を知ると共に、身体を動かす良い機会です。

参加費は無料です。お隣近所お誘い合わせのうえ、お気軽にご参加下さい。
なお、1回目は8月に実施され、8回目まで行いました。

日 程

9回目:12月15日(木)	19:00~20:30	旧大宜味小学校体育館
10回目:平成29年1月20日(金)	19:00~20:30	旧大宜味小学校体育館
11回目:平成29年2月17日(金)	19:00~20:30	旧大宜味小学校体育館
12回目:平成29年3月17日(金)	19:00~20:30	旧大宜味小学校体育館

【お問い合わせ先】 大宜味村役場 住民福祉課 ☎0980-44-3003

あなたの町のCMをよしもとと一緒に作りませんか？

JIMOT CM COMPETITION

地元の「食文化」が募集テーマ! CMアイデア募集中!!

料理・食材・伝統など、あなただけが知る地元の「食文化」ならなんでもOKです。食文化を通してあなたの地元をCMにするアイデアを募集します。

募集期間:平成28年11月15日から平成29年1月15日まで(※当日消印有効)

賞:優勝賞金41万円&あなたのCM地上波オンエア

公式サイト:<http://oimf.jp>

JIMOT CM COMPETITIONとは

あなたの地元は、日本で一番「LAUGH&PEACE」な場所のはず。地元民であるあなただけが知っている“地元”の魅力をCMにして、グランプリを目指そう。平成29年4月20日~23日に開催予定の島ぜんぶでおきな祭 第9回沖縄国際映画祭を通じて、あなたの地元が日本中・世界中にお披露目されます。今回のテーマは地元の“食文化”。誰もが持っている地元愛をアイデアシートに記入して応募しよう。

【お問い合わせ先】 沖縄国際映画祭実行委員会 jimot@yoshimoto.co.jp ☎098-917-5123

【参加企業募集】社内研修をお考えのみなさま

【目的】国内外の観光客が満足する質の高いサービスを提供できる人材を育成することを目的とし、県内の観光業に携わる方々がますます輝ける人材となるように語学・マナー接客などの研修実施を支援いたします。

実施期間:平成29年2月15日(水) ※研修実施の10日前までにご申請下さい。

対 象:県内観光関連企業・団体(飲食・小売・宿泊・旅行・交通など)

助成対象:講師謝金の8割助成 ※観光協会主催で実施すると10割助成、講師の航空運賃およびフェリー代金は実費分助成
詳細は以下リンクをご参照ください。

→<https://jinzai.ocvb.or.jp/hagunchu/about/>

【お問い合わせ先】:〒901-0125沖縄県那覇市小禄1831番地1 沖縄産業支援センター2階
一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 担当:神山、富井
☎:098-859-6129 FAX:098-859-6222

大宜味村青年団協議会全国大会出場

11月11日から14日までの4日間に開催された「第65回全国青年大会」に沖縄県代表として大宜味村青年団協議会の軟式野球(男子)とバスケットボール(女子)が出場しました。両チームからは「思っていたような成績を残せずに大会を終えましたが、全国の強さや全国大会出場を経験し今後の活動へ活かしたいと思います。みなさまの資金造成等の協力にて全国大会へ出場できたことに感謝し、この誌面をもってお礼申し上げます。ありがとうございました。」と感謝の言葉が述べられました。



▲軟式野球(男子)



▲バスケットボール(女子)

試合結果

軟式野球	大宜味村(沖縄県第2代表)	10対0	福島県代表
	大宜味村(沖縄県第2代表)	1対9	岡山県代表(前年度優勝)
女子バスケット	大宜味村(沖縄県第1代表)	30対121	東京第2代表

第50回を迎えた地元愛のスポーツ大会

10月23日、北谷屋内運動場で「第50回大宜味一心会親睦大運動会」が開催されました。各区会員や地元から駆けつけた村在住者らが村の運動会では欠かせないゴールマラーレーや各種リレーなどの種目に参加し、爽やかな汗を流しました。また、全員参加の大宜味音頭やシークワサー音頭では、大きな円になり踊りを楽しんでいました。喜如嘉小学校獅子舞クラブの獅子舞や村青年会エイサーでは、息の合った迫力ある動きが会場の方々を魅了し、終了時には大きな拍手が響き渡りました。大宜味一心会の比嘉建夫会長からは「村出身者が集まるこの場所で気持ち良い汗を流し、村の獅子舞やエイサーを見れたことで力を貰いました。これからも、村と一心会員の交流を深めるため続けていきたい。」と思いを述べました。



珍フレー続出! 笑顔満開の老人婦人スポーツ大会

10月30日、老人婦人のスポーツの祭典である「第42回大宜味村老人婦人合同スポーツ大会」(主催:大宜味村老人クラブ連合会・村婦人連合会)が新生大宜味小・中学校グラウンドで開かれました。会場には、幼児から老人まで400名余りが参加し、清々しい汗を流し、スポーツの秋を満喫しました。老人会による「ゲートボール競争」や「縄ぬい競争」では老人・婦人の他に青年会や名桜大学生が参加し、慣れない手つきで悪戦苦闘しながらも競技を楽しんでいました。昼食時には部落毎に仮装して、応援スーブが行われ、プログラムは休みなく続き、3代リレーと4代リレーでは共に4組の参加があり、孫やひ孫からおじー、おばーへと素晴らしい走りや素敵なバトンが受け継がれていきました。4代リレーでは玉城深福さん(田嘉里在住、100歳)の家族が参加し、アンカーの深福さんは笑顔で50mを走り、片手を上げゴールラインを切りました。その力強い走りに会場からは盛大な拍手が沸き起こりました。



平成28年
大宜味村むらづくり
応援寄附

	10月分	累計(1~10月)
件数	182件	2,288件
金額	3,505,000円	44,435,000円

県内外より本村にご寄付頂き心より感謝申し上げます。

満1歳お誕生日おめでとう!!

(タンカー祝い)

世界にたったひとつのスマイル!!

1歳の誕生日の子供(12月生まれ)



まお
若生 麻央ちゃん(津波)
(平成27年12月2日生)

村の人口

10月末現在

男 1,639人(+1)
女 1,517人(-3)
計 3,156人(-2)

世帯数 1,660世帯数(+6)
出産 1人 転入 10人
死亡 3人 転出 10人

※注()内数は対前月比

第26回 大宜味村産業まつり

開催日:平成29年1月14日(土)~15日(日)
開催場所:旧大宜味小学校運動場及び体育館
開催内容:大宜味村の特産品販売、ステージイベント、散策ツアー、展示コーナー等々。

【お問い合わせ先】

大宜味村産業まつり実行委員会(産業振興課内)
☎0980-44-3232

第2回 大宜味村健康と福祉まつり

開催日:平成29年1月14日(土)~15日(日)
開催場所:旧大宜味小学校体育館
開催内容:展示コーナー、健康チェック、ジョイビート、食育SAT、基調講演会、パネルディスカッション。

【お問い合わせ先】

大宜味村福祉まつり実行委員会(村住民福祉課内)
☎0980-44-3003

12月 December January 大宜味村カレンダー



1 木 ◆区長会
2 金
3 土 ◆「あの日、僕らは戦場で」上映会14:00~16:00 村農村環境改善センター
4 日 ◆第2回チャリティークリスマスコンサートin大宜味村
5 月
6 火 ◆大宜味中修学旅行~9日
7 水
8 木
9 金 ◆生活発表会(幼稚園)
10 土 ◆ぶながや生活発表会(喜保)
11 日 ◆村成人スポーツ大会
12 月
13 火
14 水 ◆「体験の翼」事前学習会②&保護者会
15 木 ◆村健康運動教室(旧大宜味小学校体育館)
16 金
17 土 ◆生活発表会(塩保)
18 日 ◆こもれびmusicピアノコンサート
19 月
20 火 ◆交通安全シークワサー作戦 ◆こころの健康相談会
21 水 ◆法律・行政相談(第2会議室)

22 木 ◆第2学期終業式
23 金 天皇誕生日
24 土
25 日
26 月
27 火
28 水 官公庁仕事納め
29 木
30 金
31 土
1月 January
1 日 元日
2 月 振替休日
3 火
4 水 ◆村成人式 官公庁仕事始め
5 木 ◆区長会 ◆村民新春の集い
6 金 ◆第3学期始業式
7 土
8 日
9 月 成人の日
10 火

※このカレンダーは予定ですので、都合により変更されることがあります。各業務については電話等で確認してください。

村内アレコレ

届けシークワサーの美味しさ!

10月24日、大宜味村シークワサー産地振興協議会の宮城功光会長(村長)から、給食センターにシークワサー原液60kgが贈呈されました。今回の贈呈されたものは給食センターの職員が村の苗圃において収穫したものを地産地消に力を入れている同協議会が協力し、原液にしました。給食センターの瑞慶山所長は「シークワサーを食べて、大宜味の特産品であることを改めて感じて欲しい。学校給食の約1年分にあたるシークワサーを大事に使っていきます。」と感謝の言葉を述べました。



「やんばる国立公園記念デザイン缶」記者発表! 一部はやんばるの環境保全へ

今年の9月15日にやんばる国立公園が指定されたことを記念して、オリオンドラフトビール「やんばる国立公園記念デザイン缶」が製造され、10月20日、オリオンビール株式会社、環境省那覇自然環境事務所、国頭村、東村、大宜味村による記者発表がされました。今回製造される記念デザイン缶販売の売り上げの一部はやんばるの環境保全活動に寄付されます。記者発表で大宜味村副村長は「豊かな自然が残っているのは先人達のおかげです。大宜味村は国立公園の入り口なので、国立公園をPRすると共に環境保全のルール作りやガイド育成等も行いたいです。」とあいさつしました。



広域地震・津波避難訓練



11月4日、沖縄県地域防災計画に基づき、大規模地震・津波の発生を想定し、区や学校等が主体となる避難訓練を実施しました。訓練では地震・津波に対する防災意識の啓発や津波避難計画等の検証を行うことで、地震・津波災害にかかる防災体制の向上を図ることを目的としています。この日、役場に近い高台には、30名余りが避難し、その場で防災マップの確認や避難経路など防災意識への呼びかけがされました。

屋古集落で大宜味っ子と歩く「チョウの観察会」

11月3日、やんばる自然体験活動協議会によって「屋古集落のチョウの観察会」が同区集落内で開催されました。始めに公民館で大宜味小学校の「屋古のチョウ観察」を行っている児童から研究発表があり、その後、約30名の参加者を2班に分け、児童による案内で散策を行いました。集落と農地が近い無農薬でシークワサーを栽培している屋古区では集落内のいたる所で様々なチョウを見ることができ、参加者は優雅に飛び回る秋のチョウを観察しました。この日、観察できたチョウは5科34種となり、普段の研究より多くの種類を発見しました。参加者からは「予想以上のチョウの多さに驚いた。子ども達の研究が自然を守る活動に繋がるように応援したい。」と話していました。



登下校の見守り点灯開始!

11月21日、大宜味小・中学校裏門前にできた信号機の点灯式と横断歩道渡り初めが行われました。点灯式には、大宜味小1年生と児童会の6年生が参加しました。



名護警察署の國吉盛純署長からは「県内では今年5機の信号機が設置されました。大宜味小・中学校前の信号機はそのうちの1機。県内でも信号機設置の要望はたくさんあるが、大宜味小・中学校前には早急に必要と考えて今回の設置となりました。参加している児童の皆さんは、今日の日のことを忘れないでほしい。そして、大きくなって大宜味村では交通事故が起きていないと誇れるように交通安全を守って大事に使ってほしい。」と話しました。6年生の島袋幸花音さんは「事故が起きないように信号機が欲しかった。今回信号機ができて良かった。汚れていたら拭くくらいの気持ちで、みんなで大切にしていきたい。」と話してくれました。

ツール・ド・おきなわ2016大会

11月12日から13日の両日、本島北部を中心に「第28回ツール・ド・おきなわ2016大会」が開催されました。初日の「沖縄本島一周サイクリング」と「やんばる



センチュリーライド」では、参加関係者560人が道の駅おおぎみで休憩し、村農山漁村生活研究会による特産のシークワサージュースやシークワサー入りサターアングギーなどの他、研究会による踊りで疲れを癒していました。2日目の男子チャンピオン・市民レース210kmでは、450人余りの選手が国道58号線を北上し、秋のやんばる路を熱走しました。

※毎年、この時期(11月)において、「ツール・ド・おきなわ」が開催され、国道58号線の屋古村区間において、交通規制が行われます。大会前には、村広報誌や防災無線などで案内しますので、今後も地域の皆さまのご協力宜しくお願い致します。